

戦略計画3

すべての小学生を対象に放課後の居場所づくり

● 5年後（平成35年度末）の目標

地域・事業者・区により、すべての小学生が安全かつ充実した放課後を過ごすことができる環境を整備

● 現状・課題

保護者が就労している家庭の児童には、放課後や学校の長期休業中等の安全な居場所が求められています。保護者が在宅している家庭の児童にも、放課後の自主的な遊びと体験を通じて社会性を育む場所が必要です。

女性の社会進出に伴い、学童クラブの入会希望者が増え、待機児童が発生しています。今後も入会希望者の増加は続くものと見込まれており、その対策が求められています。

● 5か年（平成31～35年度）の取組

1 ねりっこクラブの全小学校での実施

学童クラブの校内化を進めるとともに、「学童クラブ」と「ひろば事業」のそれぞれの機能や特色を維持しながら事業運営を一体的に行う「ねりっこクラブ」について早期の全校実施を目指します。

2 夏休み居場所づくり事業の拡充

放課後だけでなく、夏休みなどの長期休業期間中も、小学校が自由な居場所であることが求められています。「ねりっこクラブ」への移行や学童クラブの待機児童の状況に応じて、夏休み居場所づくり事業の実施校を拡大します。

3 民間学童保育の拡充

現在区内に10施設ある民間学童保育への支援を進め、駅前開設や長時間預かりなど多様な区民ニーズに応えるとともに、「ねりっこクラブ」の担い手を育成するため、新たに参入する民間事業者を支援します。支援にあたっては、待機児童が発生している地域や

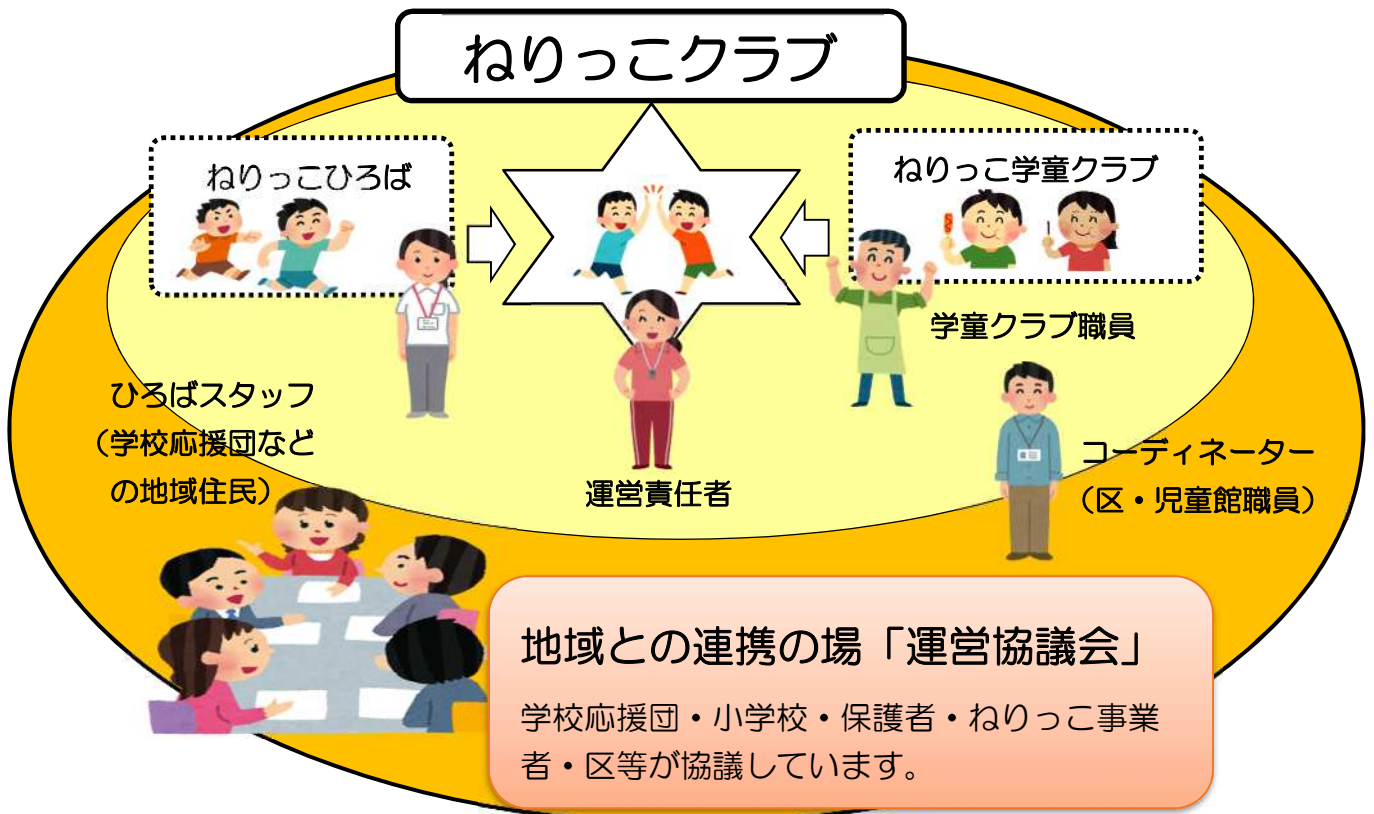
大規模マンションの建設等により児童が急増する地域への参入を優先します。

4 小学校1年生の学童クラブ優先入会の推進

入会希望者の増加により、小学校1年生であっても学童クラブの入会待機となる児童が生じています。安全確保の必要性が高い小学校1年生が、より優先的に学童クラブに入会できるよう選考基準を見直します。

5 キッズ安心メールの利用拡大

現在、ねりっこクラブ、学童クラブ、児童館等で利用されている「キッズ安心メール」は、更に保護者が安心できるよう学校応援団ひろば室への設置を進めます。



ねりっこクラブ……「学校応援団ひろば事業」と「学童クラブ」それぞれの機能・特色をそのままに、一体的に事業の運営を行います。小学校の敷地内で安全に安心してすごせる環境に加え、地域の方々の支えのもと、充実した放課後の時間をすごします。

学校応援団ひろば事業…児童の遊び場の確保や異年齢児の交流、読書の推進を目的として、放課後帰宅せずに参加できる「安全・安心な居場所」を学校施設内に確保する事業です。

学童クラブ……保護者の就労等により放課後保育を必要とする児童をお預かりする施設で、職員の指導のもとに遊びや生活を通じて協力し合い、楽しく生き生きと放課後をすごします。

キッズ安心メール…利用登録をした児童が学童クラブ、児童館等の施設を利用する際にICカードをカードリーダーにかざすと、来館・退館した旨のメールが保護者の携帯電話等に送信されます。